

荒れた竹林を資源に！国産メンマづくりのすべてを公開！

地域資源活用シンポジウム in 市原



中華料理の名脇役のメンマ。殆どすべてが外国からの輸入です。何で国産でないの？日本にはない特別な竹だから仕方がないと思いませんか？実はどんな竹のタケノコからでもできるのです。しかも、少し伸びてしまった売り物にならないタケノコで良いのです。福岡県糸島市で本格的な純国産乳酸発酵メンマづくりを始め、地域の名産品として販売を軌道に乗せたメンマづくりの達人、日高榮治さんに貴重な経験、事業の成果などをお話しいただくシンポジウムを開催します。国産メンマづくりによって、千葉県内にも広がる放置竹林を負の遺産から儲かる資源に変えてしまう、こんな夢のようなプロジェクトに皆さんも参加しませんか？

2018年

とき

6月17日(日) 13:00~16:00

ところ

五井会館 4階大ホール (定員 200名)

参加費：500円

JR 内房線五井駅西口徒歩3分

市原市五井中央西 2-3-13 電話：0436-21-2156

(車でお越しの方へ：五井会館には駐車場がありませんので、近隣のコインパーキングをご利用ください。)

★お問合せ・お申し込み：

ちば里山・バイオマス協議会事務局 〒290-0056 千葉県市原市五井 2437-2-3F

メール：mail@chibakyo.net (お名前、所属、連絡先、人数をご記入願います)

電話：090-4135-3060 (高澤)

主催 ちば里山・バイオマス協議会 後援 市原市

協力 千葉県内の里山団体 (株)モキ製作所 いすみ薪ネットワーク NPO 竹もりの里 NPO 汎房総地域づくり研究会
NPO 法人農都会議 (株)良品計画 NPO 世界環境改善連合 天竜川鷲流峡復活プロジェクト (株)諏訪商店 (株)房の駅農場
ソーラーシェアリング上総鶴舞 (一社)もりびと 企業組合情熱市原ワンハート

プログラム

6月17日(日)

13:00

開会

開会挨拶 来賓挨拶

13:15 ~ 14:15

特別講演

14:15 ~ 14:30

休憩 国産メンマ試食タイム

14:30 ~ 16:00

パネルディスカッション

★特別講演



「純国産の美味しいメンマ創りで全国的課題の竹林整備を」

日高榮治さん

糸島コミュニティ事業研究会主宰
アプレ有限会社 代表取締役社長

★パネルディスカッション

「千葉県での国産メンマ事業化と里山活動の取り組み」

・パネラー(敬称略)

糸島コミュニティ事業研究会 主宰 日高榮治
林野庁森林利用課 課長 今泉裕治
(一社) もりびと 理事 千葉美賀子
企業組合情熱市原ワンハート 専務理事 大矢仁
(株)房の駅農場 代表取締役 岩本真哉

・モデレーター

ちば里山・バイオマス協議会 代表幹事 高澤真

★お願い

ちば里山・バイオマス協議会は、千葉県内で地域の山林資源を生かし環境保全と地域の活性化の両立を目指す団体・個人の交流組織です。本シンポジウムに参加され、会の取り組み趣旨に賛同される方の入会をお願い申し上げます。

市原メンマプロジェクト



1.2mほどのタケノコ(幼竹)を収穫して加工場へ運搬します。



ひたすら皮をむき、30cmずつにカットしてコンテナに詰めていきます。



蒸し上げた後、10%の塩で塩もみします。



塩もみが終わったら重石をのせて漬け込みます。



重石をのせて、水分を出していきます。乳酸菌の働きで発酵が進みます。



約15日間漬けたもの、試食してみました。味は、塩味のきいたメンマでした。